

# Clostridioides (Clostridium) difficile 治療 院内フォーミュラリ

監修 感染防止対策委員会  
2021.3作成 薬剤部 堀 勇太  
2022.8改訂 薬剤部 森 良江、前 万紀子  
2023.4改訂 薬剤部 森 良江、前 万紀子

※ ( ) 内は1日薬価 2023.4時点

## 初発

### 非重症

[第一選択薬]

#### メトロニダゾール

#### フラジール錠250mg

1回500mg 1日3回毎食後 (¥217.2)

《内服不能な場合》

#### アネメトロ点滴静注液500mg

1回1バイアル 1日3回 (¥3768)

[第二選択薬]

#### 塩酸バンコマイシン散

1回125mg 1日4回 (¥909.6)

### 重症

[第一選択薬]

#### 塩酸バンコマイシン散

1回125mg 1日4回 (¥909.6)

[第二選択薬]

#### (要時)ダフクリア錠200mg

1回1錠 1日2回 (¥8025.6)

### 劇症

#### アネメトロ点滴静注液500mg

1回1バイアル 1日3回 (¥3768)

+

#### 塩酸バンコマイシン散

1回500mg 1日4回 (¥3638.4)

±

#### 塩酸バンコマイシン散

1回500mg 1日4回 (¥3638.4)

(注腸)

注腸：塩酸バンコマイシン散500mg (1瓶) を  
100mL生理食塩水に加え、停留浣腸

※重症度の判断は臨床診断とするが、参考までにIDSAガイドラインにおける重症度分類を以下に記載する  
非重症：WBC ≤ 15000 /  $\mu$ L かつ 血清クレアチニン値 < 1.5 mg/dL  
重症：WBC ≥ 15000 /  $\mu$ L または 血清クレアチニン値 > 1.5 mg/dL  
劇症：低血圧、ショック、手術後のイレウス、中毒性巨大結腸症

※再発、再々発の場合は適宜AST（抗菌薬適正使用支援チーム）へコンサルトを検討する

- 【治療の基本】
- ・無症候性のキャリアは治療適応とならない
  - ・使用中の抗菌薬は可能であれば中止する
  - ・治療期間は通常10日間。治療への反応が乏しい患者では、14日間投与を考慮
  - ・症状改善を治療終了の指標とし、効果判定目的でCDトキシンの再検を行わない

## 再発1回目

### 初発治療がメトロニダゾール

#### 塩酸バンコマイシン散

1回125mg 1日4回 (¥909.6)

### 初発治療がバンコマイシン

#### ・バンコマイシンパルス・テーパリング療法

塩酸バンコマイシン散1回125 mg  
1週目1日4回 → 2週目1日3回 → 3週目1日2回  
→ 4週目1日1回 → 5週目1日1回 (隔日)  
→ 6週目1日1回 (3日に1回)

・(要時)ダフクリア錠200mg 1回1錠1日2回 (¥8025.6)

## 再発2回目以降

- ・バンコマイシンパルス・テーパリング療法
- ・(要時)ダフクリア錠200mg 1回1錠1日2回 (¥8025.6)